

ポートフォリオ研修会

新任者を対象に、目標管理で導入されている「ポートフォリオ」の研修が開催されました。清水昭彦主任看護師により、ポートフォリオの目的や効果、記載の流れなどが講義された。

ポートフォリオって何？

- ・「個人の作品集」
- ・「自分をアピールする資料」
- ・学習、実践した事をファイルして、自分の成長過程を客観的に評価できる物。
- ・課題を明らかにして、自分を育てる。

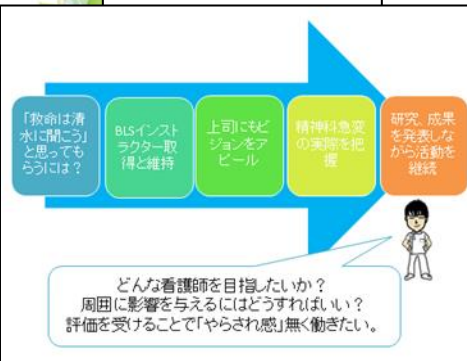
過去の目標管理との違いは？

「与えられた課題」⇒「やらされ感」



「これがやりたい！」⇒
「自分で考え、自分で計画、行動」
主体的な姿勢

何をファイルすればいいの？



私の目標管理

ゴール
BLS個別トレーニングを実施し、
G2015(最新)BLSを知り、
身に付けてもらう。

具体的な取り組み内容

1. G2015をマスターする(講習参加)。
2. BLS個別トレーニング、評価表を説明。
3. BLS知識チェックの回答シート実施。
4. BLS個別トレーニングを開始。
5. BLS知識チェックの回答表。
6. 院内研修でもG2015を定める。
7. 興味を引くG2015資料の作成。
8. 院内研修や他職種(依頼)でも講師。

ねがい(ビジョン)
BLSの正しいスキルを身に付けた結果、
実践し救命できた気持ちを共に
分かち合いたい。

現状分析

1. G2015BLSは発表されたばかりで、
最新の方法を知らない。
2. 昨年度実施・発表した、BLS個別
トレーニングが効果的であった。

氏名 清水昭彦
平成28年 4月19日

ポータルフォリオで仲間の強みを知り、尊敬しあい、病棟の雰囲気 が良くなる。それは、質の高い看護に繋がると伝えられた。ポ ートフォリオの見本を実際に見てもらったり、発表の資料を参考に、 イメージをしてもらった。

凝縮ポータルフォリオ

目標(ゴール)

BLS(心肺バイパス)を実施し、
G2015(最新)BLSを知り、
身に付けてもらう。

- 3月: G2015(最新)BLS実習実施
- 4月: BLS(最新)BLS実習実施
- 5月: BLS(最新)BLS実習実施
- 6月: BLS(最新)BLS実習実施
- 7月: BLS(最新)BLS実習実施
- 8月: BLS(最新)BLS実習実施
- 9月: BLS(最新)BLS実習実施
- 10月: BLS(最新)BLS実習実施
- 11月: BLS(最新)BLS実習実施
- 12月: BLS(最新)BLS実習実施

自分の強みとして時間を多く取り、対面通りに
行動が出来た。昨年と同様にBLS実習を実施
したが、1ヶ月まで通じて訓練する事が多く、効
率に繋がると見込める。
昨年発表した研究を、修正して山梨看護学
会で発表。掲載された。精神科の枠を飛び
出し、看護全体での連携を促した事は、
自分自身に誇りを持ってもらえる事だと思
った。
今後この「強み」を維持・向上させる。国際化
に向けて、精神科以外の分野でも、看護を考
えられる様になりたい。

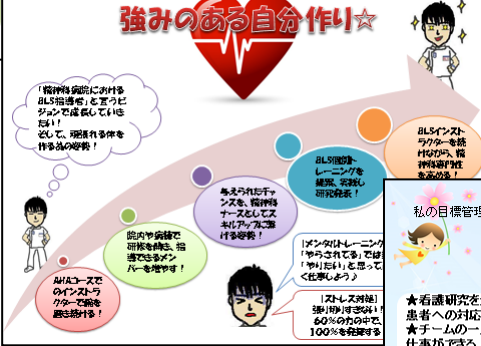
1. BLS(最新)BLSの勉強、より身
に付く内容を研究的に探求してい
く。発表会へ積極的に参加して二次教
育を履修し、更新・定評員になる。
※ BLS(最新)、ICL(最新)とコース化。
※認定ICLコースの北湖病院併任従事。



成長報告書

1. 看護領域を率先して実施していた。
2. チームメンバーの日々の動きを見ながら支援したり、日々
の状況を報告を仕ながら仕事がスムーズにできるよう
に率先して行動していた。
3. 健康面に不安があったが体調管理をしながら急な病状な
どなくチームの一目として仕事をすることができた

強みのある自分作り☆



私の目標管理

★看護研究を通して自己分析を行い、
患者への対応スキルを身に付けたい
★チームの一員としてチームが円滑に
仕事ができるようにメンバーシップを発
揮していきたい。

- ①看護研究の取り組み自己課題を見
出す必要がある。
②日々の看護の中で、精神科領域の
疾患をもつ患者の個別性を見極めて、
関わるスキルを学んでいく必要がある。
③病棟の中でチームがより良い仕事
ができるようにメンバー間の調整がは
かれるよう全体を見る力を身に付ける
必要がある。

3年目の看護研究を無事発表し、ラダ
ーⅡにステップアップすることができる

- #### 具体的な取り組み内容
1. 計画通りに研究を進め、提出期限を守
っていく。
 2. 研究で困ったことなどピアサポートに相
談をしていく。
 3. ラダーⅡのチェック表をみながら課題を
こなし、評価を定期的に実施していく。
 4. スタッフの日々の行動やコミュニケーションの
観察を分析しながらメンバー間の
信頼関係(信頼力)を良くし、問題解決の
ために汗をかき(調整力)を必要に応じてメン
バーに手をかす(関与力)プラスアルファの
貢献ができるようにメンバーシップを高く
率先して行動していく。

看護室のレイアウトを変更

